

生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）

令和7年12月16日

（名称） 京都市
（代表者名） 京都市長 松井 孝治

1. 生活交通改善事業計画の名称
ノンステップバス、ユニバーサルデザインタクシー及び福祉タクシー導入事業計画
2. バリアフリー化設備等整備事業の目的・必要性
<p>【ノンステップバス及びユニバーサルデザインタクシー】</p> <p>通学や通院、買い物等の日常生活における移動手段として運行しているバス、タクシーについては、乗降口に段差があり、高齢者や障がい者等にとって利用しづらい状況となっているため、ノンステップバス及びユニバーサルデザインタクシーを導入し、利用者の利便性の向上及び移動の円滑化を実現する。</p> <p>【福祉タクシー】</p> <p>京都市には福祉輸送サービスにおいての効率的な輸送システムを確立し、需給のミスマッチを解消するために京都市と国土交通省の協調補助で設立された共同配車センターが平成21年2月より創設されている。高齢者施策において、施設介護から在宅介護にシフトしている状況から通院や外出支援の需要が増えており、福祉タクシーの充足は喫緊の課題である。また、障がい者の社会参加や通院等で外出支援も増加しており、これらに対応するために早急な更なる福祉タクシー等の整備が必要である。なおバリアフリー法に基づく基本方針では、令和7年度末までに全国で約90,000台の福祉タクシーを導入目標としている。</p>
3. バリアフリー化設備等整備事業の定量的な目標及び効果
（1）事業の目標
<p>市内を運行するバス事業者及びタクシー事業者において、ノンステップバス5台、ユニバーサルデザインタクシー59台を導入し、利用者の利便性の向上および移動の円滑化を図る（京都バス株式会社、アオイ自動車株式会社、ギオン自動車株式会社、都タクシー株式会社、ひがし都交通株式会社、京都相互タクシー株式会社、京都第一交通株式会社、八光第一交通株式会社、西都交通株式会社、都大路タクシー株式会社、株式会社キャビック）</p> <p>また、市内を運行するタクシー事業者において福祉タクシーを4台導入する。</p> <p>（アオイ自動車株式会社、ギオン自動車株式会社）</p>
（2）事業の効果
<p>【ノンステップバス及びユニバーサルデザインタクシー】</p> <p>ノンステップバス及びユニバーサルデザインタクシーの導入により、高齢者等にとって、移動の負担軽減や移動の円滑化が図られるとともに、これまで利用しづらいことを理由に外出を控えていた方の外出機会が拡大される。</p> <p>【福祉タクシー】</p> <p>通院や買い物等生活する上で不可欠な外出が容易になり、移動の円滑化が図られる。また、バスや電車等大量輸送交通機関との連携により社会参加が促進される。</p> <p>加えて、ドア・ツー・ドアからベッド・ツー・ベッドのサービスが実現し、高齢者や障がい者等の移動が保障される。</p>

4. バリアフリー化設備等整備事業の内容と当該事業を実施する事業者
(1) 事業の内容：実施事業者（補助対象事業者）
<div>* 内容</div> <div>ノンステップバスの導入 5 台</div> <div>ユニバーサルデザインタクシーの導入 59 台</div> <div>福祉タクシーの導入 4 台</div>
<div>* 実施事業者</div> <div>ノンステップバスの導入</div> <div>・ 京都バス株式会社</div> <div>ユニバーサルデザインタクシーの導入</div> <div><div><div>・ アオイ自動車株式会社</div><div>・ 都タクシー株式会社</div><div>・ 京都相互タクシー株式会社</div><div>・ 八光第一交通株式会社</div><div>・ 都大路タクシー株式会社</div><div>・ 株式会社キャビック</div></div><div>・ ギオン自動車株式会社</div><div>・ ひがし都交通株式会社</div><div>・ 京都第一交通株式会社</div><div>・ 西都交通株式会社</div></div> <div>福祉タクシーの導入</div> <div><div>・ アオイ自動車株式会社</div><div>・ ギオン自動車株式会社</div></div>
(2) 関連事項（以下、〈 〉内の事業に該当する場合に記載）
<div>〈バス車両導入に係る事業〉</div> <div>府内を運行するバス事業者における基準適合車両数（ノンステップバス、ワンステップバス等）の導入台数。（令和5年3月末）</div> <div>・ 基準適合車両数：1681 台、うちノンステップバス車両：1440 台</div> <div>〈タクシー車両導入に係る事業〉</div> <div>府内を運行するタクシー事業者におけるユニバーサルデザインタクシーの導入台数。（令和6年3月末現在）</div> <div>・ 総車両数：5634 台</div> <div>・ ユニバーサルデザインタクシーの台数：730 台</div> <div>〈福祉タクシー車両・共同配車センター等に係る事業〉</div> <div>京都市福祉タクシー共同配車センターは、全国3か所しかない共同配車センターのひとつであり、同センターに参画する事業者は、高齢者や障がい者等の移動の利便性向上のため、福祉タクシー車両の導入を強化している。</div> <div>また、株式会社キャビックは、国土交通省後援のユニバーサルドライバー研修を主催し、同社の乗務員だけでなく京都市福祉タクシー共同配車センターの母体組織である全国福祉輸送サービス協会京都支部の会員乗務員にも研修を実施している。さらに、京都府タクシー協会においても、同様の研修を協会員乗務員等にも実施している。</div>

5. バリアフリー化設備等整備事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

令和7年度（当該年度）



事業の名称	総事業費 割合	国費 割合	都道府県負担 割合	市区町村負担 割合	事業者負担 割合
ノンステップバスの導入	117,929 千円	7,000 千円	0 千円	0 千円	110,929 千円
	100%	5.9%	0%	0%	94.1%
ユニバーサルデザインタクシーの導入	172,382 千円	37,000 千円	0 千円	0 千円	135,382 千円
	100%	21.5%	0%	0%	78.5%
福祉タクシー導入	9,000 千円	2,400 千円	0 千円	0 千円	6,600 千円
	100%	26.7%	0%	0%	73.3%
合 計	299,311 千円	46,400 千円	0 千円	0 千円	252,911 千円
	100%	15.5%	%	%	84.5%

※総事業費については見込み額を記載。

6. 計画期間

以下項目別に概ねの着手・実施期間を矢印（←→）、または横棒線（——）で記載。

●で年度ごとの事業着手日、事業完了日を記載

事業の名称	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	4月 9月 12月 3月	4月 9月 12月 3月	4月 9月 12月 3月
ノンステップバスの導入	 交付決定後 令和8年2月28日完了		
ユニバーサルデザインタクシー及び福祉タクシーの導入	 交付決定後 令和8年2月28日完了		

7. 協議会の開催状況と主な議論

令和〇年〇月〇日に京都市バリアフリー化設備等整備事業協議会を開催し、全ての構成員から合意を得た。

8. 利用者等の意見の反映

市ホームページにて本計画に対する意見を募集

9. 協議会メンバーの構成員	
関係市区町村	京都市都市計画局歩くまち京都推進室
交通事業者・交通施設管理者等	京都バス株式会社 アオイ自動車株式会社 ギオン自動車株式会社 都タクシー株式会社 ひがし都交通株式会社 京都相互タクシー株式会社 京都第一交通株式会社 八光第一交通株式会社 西都交通株式会社 都大路タクシー株式会社 株式会社キャビック
地方運輸局	近畿運輸局京都運輸支局

■注意事項

・総合連携計画等の既存の計画を活用する場合は、上記の事項について記載のある計画をそのまま活用することでもよい。ただし、記載されていない事項については追記すること。

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町 488

(所 属) 京都市都市計画局歩くまち京都推進室

(氏 名) 中村 悠

(電 話) 075-222-3483

(e-mail) trafficpolicy@city.kyoto.lg.jp